

# 平成 26 年度 豊里中学校 生徒会活動方針挨拶

豊里中学校生徒会長

今年度の生徒会活動方針は、「豊中魂永遠に」「誠心」「判断」「勇敢」「あたりまえのことがあたりまえにできる」です。

この「豊中魂永遠に」は 豊中生一人一人が卒業してから「豊中で過ごせてよかった」と思えると共に、豊中で過ごして学んだことを将来に生かし、永遠に持ち続けてほしいと思いを決めました。

次に「誠心」です。誠心とはまごころのことです。郷土の偉人、渋沢栄一翁も、「まごころと思いやりの心」を大切にしていました。豊中生徒全員が他人のことを考え、思いやる心を持つことを目標に決めました。

そして、この学校に欠けている点は「判断」力だと思えます。誰にでも善い心と悪い心があります。確かに、「少しでも楽をしたい」という気持ちはわかります。しかし、それで人の為になるとは思えません。それに、悪いことは人に迷惑をかけるだけで、自分勝手な行動と言えます。どんな場合にも、自分で考えて正しい判断をすることが必要なのです。だから、時と場合に応じて判断することを身につけてほしいと思えます。

判断をするためには「勇敢」でなければなりません。これは、何事も勇気を出して、自分から積極的に行動してほしいという思いから決めました。何をするにも勇気が必要で、どんなに辛く、苦しいことがあっても自信を持って挑み続けていきましょう。

「あたりまえのことがあたりまえにできる」は、この基本的な生活習慣という土台があるからこそ、「誠心」「判断」「勇敢」が成り立つと考え、前生徒会から引き継ぎました。

僕たち生徒会本部が中心となり活動していますが、学校は生徒全員で築き上げていくものです。生徒一人一人が、この豊里中学校に誇りを持ちましょう。そして、この活動方針を理解し、しっかり成し遂げ、よりよい学校を作り上げていきましょう。